

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2018-1009-1	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:脳MRI画像データ、認知心理テスト、生活習慣データ (調査票、食(生活))、センター型詳細調査データ(握力、 骨密度、聴力、眼科検査)	
主たる研究機関	国立精神・神経医療研究センター			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構、 いわて東北メディカル・メガバンク機構、 福島県立医科大学、京都府立医科大学、 京都大学、量子科学技術研究開発機構	
研究題目	PADNIを含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータ ベース構築及びデータの活用法の開発研究			研究期間	2019年2月～2024年3月	
実施責任者	花川 隆	所属	国立精神・神経医療研究センター		職位	部長
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク機構のコホート事業内で実施されている脳画像統合データベースに収集されている脳MRI データ、認知心理検査データを解析・活用するための研究基盤構築を行います。					
研究計画概要	国立精神・神経医療研究センター(NCNP)に脳画像データ、認知心理検査データ等の提供を行い、NCNP の解析環 境でデータクレンジングおよび脳画像の1次解析、認知心理検査との関連解析を行います。更に、層別脳画像参照パ ネルを構築し、国内の共同研究者と共有可能な環境を整備します。最終的には、国際連携へ向けた解析基盤構築を 目指しています。					
期待される成果	東北メディカル・メガバンク事業のデータは大規模な幅広い年齢層で構成されるため、NCNPの認知症及びパーキン ソン病患者データに対して、健常コントロールを提供することができ、これらの疾患発症プロセスの解明による人類へ の貢献が可能となる。					
これまでの倫理 審査等の経過	2018年11月 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認(30-651) 2019年2月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(2018-4-083) 研究課題名:PADNIを含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータベース構築及びデータの活用法の 開発研究					
倫理面、セキュリ ティ面への配慮	国立精神・神経医療研究センター(NCNP)へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行いま す。また、提供したデータは、NCNP及びいわて東北メディカル・メガバンク機構のみが利用します。					
その他特記事項	戦略的国際脳科学研究推進プログラム(AMED)					
* 公開日	令和2年10月7日					